

2022年5月の自動車用タイヤ・エンジンオイル・バッテリー販売速報

GfK Japan（東京：中野区）は、全国のカー用品店、タイヤ専門店、ガソリンスタンド、ホームセンター、インターネットの販売実績データを元に、市場規模相当に拡大推計した自動車用タイヤ、エンジンオイル、バッテリーの販売速報を公表しました。

■タイヤ

2022年5月の自動車用タイヤ販売は本数前年比6%増と堅調で、店頭では同5%増、インターネットでは同7%増であった。サイズ別の販売動向をみると、最も販売本数の多い155/65/14が本数前年比16%増と好調で、インターネットでは同38%増と大きく伸長した。165/65/14、165/60/15も好調で、それぞれ同53%増、同38%増であった。タイヤ全体の税抜き平均価格は、値上げの影響により前年同月から8%上昇し9,504円となり、店頭、インターネットともに8%上昇した。その結果、金額前年比は14%増で、店頭では同12%増、インターネットでは同16%増とともに二桁成長を見せた。

販売本数前年比



販売金額前年比



税抜き平均価格



■エンジンオイル

2022年5月の自動車用エンジンオイル販売は、販売量（リットル換算）ベースで前年比0.4%増と微増であった。4L缶の販売は数量前年比3%減であったものの、店頭では同5%減に対し、インターネットでは同12%増と好調であった。4L缶を粘度別にみると、販売の多い0W-20、5W-30は前年同月を下回り、それぞれ同1%減、同7%減であった。他方、0W-16は前年の1.3倍と大きく伸長した。4L缶の税抜き平均価格は3,704円と前年同月から3%上昇し、店頭では2%、インターネットでは11%上昇した。4L缶の金額前年比は1%減で、店頭では同3%減であった一方、インターネットでは同24%増と大きく成長した。

販売数量前年比



-3%

販売金額前年比



-1%

税抜き平均価格



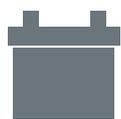
+3%

※販売数量前年比、販売金額前年比、税抜き平均価格はそれぞれ4L缶ベース

■ バッテリー

2022年5月の自動車用バッテリー販売は、数量前年比3%増と微増であった。店頭は同3%増、インターネットは同4%増であった。JIS規格別にみると、最も販売数量の多いB19は数量前年比3%増であった。店頭では同1%減と前年を下回った一方、インターネットは同22%増と著しい伸長を見せた。D31は同10%増、B20は同9%増で、特に店頭で販売を伸ばした。バッテリー全体の平均価格は12,624円と前年同月から4%上昇し、店頭では4%、インターネットでは6%上昇した。金額前年比は8%増と堅調で、店頭では同7%増、インターネットでは同10%増とプラス成長であった。

販売数量前年比



+3%

販売金額前年比



+8%

税抜き平均価格



+4%

- タイヤはカー用品店、タイヤ専門店（メーカー系列を除く）、ガソリンスタンド、インターネットを集計対象としております。
- エンジンオイル及びバッテリーはカー用品店、ガソリンスタンド、ホームセンター、インターネットを集計対象としております。

本リリースに関するお問い合わせ先

GfK Japan
Marketing & Communications 平川 己津子
M:080-1378-8161
Email:mitsuko.hirakawa@gfk.com